

令和6年第8回教育委員会会議

令和6年7月10日

午前 9時30分 開会

1 開会宣言

○廣瀬教育長 それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和6年第8回教育委員会会議を開会いたします。

会期は本日限りといたします。

本日の会議の欠席者を教育総務課長から報告願います。

○森教育総務課長 本日は博物館廣瀬副館長が欠席となっております。

以上です。

○廣瀬教育長 傍聴者はお見えでしょうか。

○伊藤教育総務課主幹 傍聴者はありません。

2 会議録の承認

○廣瀬教育長 それでは、先にお渡ししてございます令和6年第2回及び第3回の会議録について、何かございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 よろしいでしょうか。それでは承認といたします。

3 会議録署名者の決定

○廣瀬教育長 それでは、会議録署名者の決定に移ります。

お諮りいたします。

本委員会の会議録署名者として、堀委員と数馬委員とでお願いしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○廣瀬教育長 御異議がないようですから、提案どおり決定をいたします。

4 議事

○廣瀬教育長 これより議事に入ります。本日の議事は、協議事項1件、報告事項4件で

すが、協議事項「令和5年度の教育委員会における点検及び評価について」、報告事項「休日の中学校部活動地域移行について」及び「行政による学校問題解決のための支援体制の構築に向けたモデル事業」については、今後市議会等で審議検討される事項でありまして、また報告事項「本市におけるいじめ事案について」は、個人情報を含む案件であるため非公開で審議する必要があると考えます。

なお「本市におけるいじめ事案について」の参加者は、副教育長、教育監、政策推進監、教育総務課長、学校教育課長、指導課長、教育支援課長、人権・同和教育課長としたいと思っております。皆さん御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**廣瀬教育長** 御異議がないようですから、後ほど非公開にて審議をいたします。

(1) 報告

令和6年6月定例会議会の報告について

○**廣瀬教育長** それでは、報告事項「令和6年6月定例会議会の報告」についての説明をお願いします。

副教育長、お願いします。

○**磯村副教育長** では、私から議会の説明をさせていただきます。ページにつきましては、資料の53分の37ページからが議会の報告資料になっております。

ではまず、53分の38ページを御覧ください。一般質問についてから御説明させていただきます。

今回は多くの議員さんから御質問いただきまして、短いやり取りも含めまして、13人の議員さんからの御質問を頂戴いたしました。

まず、38ページのほうに書いております太田議員から。太田議員からは、大阪・関西万博についての質問がありました。ちょうどニュース等で騒がれていた時期でしたので、話題になっていた時期でございます。万博に関しては、今のところ情報が乏しく、子どもたちが行く行かないという判断が難しいため、今後も情報収集に努めていくということをお答えさせていただきました。共産党さんとしては、行かせないほうがいいんじゃないかという御意見をお持ちということでした。

次に山口議員からは、ブックスタートについて、教育委員会とこども未来部に対して質問がありました。教育委員会といたしましては、四日市市子どもの読書活動推進計画に基

づいて、子どもの読書活動を全庁的に推進しており、ブックスタートも含めて進めていく旨、答弁をいたしました。事業の実施方法については、こども未来部のほうが検討していくという旨の答弁をしております。

次に森議員からは、中学校給食について3点質問がありました。一つ目は、スタートして1年たったの中学校給食の効果検証です。教育委員会では、令和5年11月にアンケート調査を行っておりまして、その結果を踏まえて、様々な指導を行っていること。また、食体験を広く持てるという給食ならではの効果も確認できていることから、順調に運営できているとの答弁をいたしました。

次、資料39ページのほうを御覧ください。森議員の2点目、中学校給食の配送時間が学校行事に合わせられていないのではないかとといった趣旨の御質問です。配送につきましては、13台の配送車を用意して、綿密に調整した配送計画に基づき実施しておりまして、順番に配送していくので、行事などによる一時的な時間の変更には対応しておりません。中学校給食開始前には心配する声もありましたけれども、実際始めてみると、日課の調整で支障なく運用できているということを答弁させていただきました。

三つ目が、給食センターの計画時に2か所を検討すべきと議会での議論があったが、食中毒の対応などはどのように考えているかとの御質問でした。まず、万一、給食センターが稼働できない状況になったときは、非常食のカレーにより対応することを答弁した上で、2か所と1か所の議論につきましては、四日市市中学校給食基本構想、基本計画策定時に検討をしておりますので、その内容を説明しまして、そのときの検討の結果、1か所と決定したという経緯について、御説明をあらためてさせていただきました。

1枚資料をめくっていただきまして、40ページを御覧ください。

伊世議員の質問です。まず、教員の配置や初任者へのサポート、欠員への対応について質問がありました。教職員定数については、制度を説明いたしまして、初任者へのサポート体制、教育アドバイザーによるサポートについて、答弁をさせていただいております。

次にタブレットの活用や方針について質問がありました。41ページのほうに書かせていただいております。タブレットについては、児童生徒や保護者の声も聞きつつ対応すること、また更新に当たっては、保護者の負担とならないように努める旨、答弁をさせていただきました。

最後に、登校サポートセンターのサポートが受けにくい生徒についての質問がありましたので、通級しにくい生徒へは、アウトリーチでの支援、校内ふれあい教室などがあり、

今後学びの場の拡充に努める旨、答弁をさせていただきます。

資料4 2ページのほうを御覧ください。次は小田議員です。

小田議員からは、小規模特認校について、環境と特色について質問がありました。現在特認校については、問合せが4件あること。募集人員については毎年検討していく旨、答弁をさせていただきます。特色については、水沢小学校の特色を説明した上で、今後は水沢小学校に限らず、新たな教育スタイルとして、自由進度学習も取り入れていきたい旨、答弁をさせていただきます。

資料4 3ページのほうを御覧ください。

同じく小田議員からですが、豊中市で朝の7時から子どもの預かりをしている例を挙げられまして、四日市市での朝の子どもの預け先についての質問がございました。そこで現状四日市市では、保護者の協力により、早朝から児童が登校してくる状況はないこと、また本市において、学校が早朝に児童を預かるということは考えていないという旨、答弁をさせていただきます。

4 3ページの下の方の樋口委員です。樋口議員からは、まず避難所への空調導入ということで、学校の体育館への空調整備についての質問がありました。この学校の空調については、これまでも答弁を何度もしておりますので、そのとおりに、体育館への整備については、課題整理を行っていく旨、答弁させていただきます。

資料1枚めくっていただいた4 4ページです。

同じく樋口議員の続きです。ネイチャーポジティブという考え方を基に、レインガーデンの周知など、環境教育の視点を持った施策も必要ではないかとの質問がありました。そこで学校教育での水の循環に関わる学習の事例もお示ししながら、身近な課題を地球規模の課題に結びつけ、課題に向けて行動できる子どもを育成していく旨、答弁をさせていただきます。

次に同じく樋口議員ですが、特別支援教育について、議員御自身のお子さんのことを事例に挙げながら、学校での学習や部活の在り方、キャリア教育について質問がありました。児童生徒の実態に応じた教育課程や部活動を、教職員が連携して支援していく旨、答弁をいたしております。また、就労に関わる教育についても、関係機関と連携を取り、情報収集や提供に努める旨、答弁をいたしました。

最後に夜間中学での学び直しという点についても問われましたので、その点につきましては、特別支援学級の教育課程で学んで卒業した後でも、入学可能であることを三重県に

確認したという旨、答弁をさせていただいております。

次に資料45ページを御覧ください。

辻議員からですが、この議員からは学童保育所で夏休みに昼食を提供することができないかとの質問がありました。主には学童保育のことですので、こども未来部からも答弁がありましたけれども、八王子市で給食センターを活用して、公設民営の学童保育所への昼食の提供を行っているという事例を紹介されましたので、教育委員会として、本市の学童保育所は民設民営あって、昼食を提供することは難しい旨、答弁させていただいております。

次に山田議員からの質問です。不登校児童生徒、その保護者への情報提供をはじめとする支援について質問がありました。教育委員会としましては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置や教育相談窓口、保護者会の実施などを行っておりますが、広い範囲の情報提供については、教育委員会だけでは難しい部分もあるため、関係機関や民間団体とも連携して、検討していく旨、回答をさせていただいております。

資料1ページめくっていただいて46ページです。

次に今村議員です。部活の地域移行。自主的、自発的加入という部活の内容と、子どもの体力について質問がありました。部活の地域移行については、現在の取組状況を説明させていただき、部活が自主的、自発的加入になったことにより、何の活動もしていない生徒への対応としては、一人一人の生徒と丁寧な対話を続け、家庭でも子どもとの対話をお願いしている旨、答弁をさせていただいております。また、議員からは、子どもの体力が低下していることを懸念しての質問もありましたので、体力向上の取組について説明をさせていただいております。また、議員自身が理学療法士であることから、体力向上のために理学療法士を活用した取組を提案されましたので、既に進めております理学療法士の活用についても答弁させていただいております。

次に47ページです。

小林議員です。小林議員からは不登校対策について。特にフリースクールに関わることでの質問がありました。そこで市として行っている不登校対策について説明をした上で、今年度より三重県が始めました補助金の制度に対する考え、またフリースクールとの連携について、答弁をさせていただいております。

また、県が設置する夜間中学校の分校を四日市に設置することについての見解を求められましたので、今後も県へ設置を要望していく旨、答弁をさせていただいております。

資料めくっていただいて48ページです。

田中議員からは、フードロスをなくすための食育。特に開始から1年がたった中学校給食での取組について質問がありました。日々の給食指導や食育に関する授業、給食センターにおける行事の開催など、多方面からの取組で食育を進める旨、答弁をさせていただいております。

一般質問については以上です。

次の49ページは、議案に対する質疑応答を挙げさせていただいております。

今回は高額な動産の取得ということで、真空冷却機7台の取得について議案となりました。導入のメリットや入札結果に関して質問があり、こちらでお伝えしたとおり、答弁をさせていただき、可決ということになりました。

議会報告は以上です。

○**廣瀬教育長** ただいまの報告に関わりまして、質問や御確認、意見がありましたらお願いいたします。

伊藤委員、お願いします。

○**伊藤委員** 全体的に説明して終わりという感じが多いようで、何か方向性が出てきたという感覚があまりなかったんですが、ブックスタートは教育委員会が直接というわけでもないと思うんですけど、図書館の関係で出ていて、ぜひ自分は進めてほしいなという思いがあります。感想ですが、小さいうちから本に親しむということや関心を持つという意味で、取組としていいのではないかなと思っていました。

一つ二つばかりお尋ねしたいのですが、40ページに産休や育休に伴う欠員補充の話が出ていますが、答弁でどうこうではなくて、実際の今の補充状況はどんな感じであるのかということと、今後のそれに対する見通しはどう捉えられていたり、また何らか働きかけをされているのかというのを教えていただけたらと思います。

それから、次の41ページ、登校サポートセンターまで遠い等、そういう状況で利用しにくいというようなことを言われていますが、実際の今の状況で、そのような児童生徒は、どれぐらいいるのかということをつかんでいる範囲でいいので教えていただけたらなと思いました。

以上です。

○**廣瀬教育長** 2点、学校教育課からお願いします。

○**稲垣学校教育課長** 今年度のスタート時においては、病休補充、産育補充が配置できな

いままスタートした学校は確かにあります。5校ほどありました。しかしそれは何かとい
いますと、病休補充であって、その復帰が4月とか、産育についても同じようなことがあ
って、しばらくの間は学校で我慢してもらって、その職員の復帰を待つということをやっ
たところがあります。ですので、欠員のまま走っているというのは、年度当初はそれでい
けたんですが、小学校においても中学校においても、年度途中から病休に入るとい先生
方もお見えになります。そこについては常勤としての配置は、今現在ではほぼ不可能な状
況です。とはいえ、教科に穴を空けるわけにはいきませんので、非常勤講師で補充をする
という形を取っておりまして、教科指導もできないという状況に陥っている学校は今のと
ころはありません。今後の対応については、この答弁でお答えさせてもらったところでは
ありますが、県に強く要望していくこと、そしてペーパーティーチャーセミナーなどを実
施する中で、発掘をしていくということをしていきます。

○廣瀬教育長 教育支援課お願いします。

○坂下教育支援課長 教育支援課です。登校サポートセンターにアクセスしにくい、ある
いは送り迎えをしにくいという声がありますけれども、これ実際に調査するには、各校で
まず、登サポどうですかというふうに相談をする。保護者に持ちかける。そこで、いや、
遠いから難しいですと、そういうような件が何件あるかということ調査しないといけま
せんので、実数としては把握してないんですけども、私が大矢知興譲小学校の校長だった
ときも、確かにそういう声がありまして、保護者の出勤経路を変えないと、なかなか登サ
ポに送っていきませんが、どうしようという、そういうようなケースもございまし
て、やはり四日市の中心街以外のところでは、どうしても保護者の負担は大きくなるかな
と。一方で各自治体の、例えば連合自治会長さんとかからも、うちの地区にも登サポが欲
しいというようなことでの問合せ、この1年間だけでも2件ほどあるんですけども、とこ
ろが実際に見学をしていただきますと、この施設を各地に造るのは難しいだろうなとい
うことで帰ってみる。例えば、まず基本的に集団で学ぶということを中心にやるんですけ
ど、登サポでは。ところが集団が難しければ個別の部屋もそれぞれ設ける。あるいは体を
動かすような、そういうような部屋を設けるということで、いろんな段階に応じていろん
な部屋をつくって職員を配置している。この現状を見ていただくにつけ、いや、これはや
っぱりそんなにたくさんつくれないなということで納得いただくんですけども、そんなふ
うにして、集約して今中央緑地に配置しているというようなところでございます。

○廣瀬教育長 いいですか。

○伊藤委員 不登校の子どもたちが増える傾向にあるのは間違いないので、確かにこういうことも何らか考えていかなきゃならないけれども、そう簡単ではないというのも自分も思いますので。でも課題の一つやなと確かに思いました。

○廣瀬教育長 というのは、先進的に取り組んでいる市町のやっていることを参考にしながら、使えるものかどうかを検証しながら入れていきたいなっていうのは考えていて、メタバースの実証について説明をお願いします。

○坂下教育支援課長 今メタバースといいまして、ネット上の空間に子どもたちが馬とか猫とかになって入って行って、そして逆に先生とかスタッフも、こんにちは、いらっしやいと、やり取りしながらその空間で過ごす。そういうメタバース空間が、東京都では少しお金をつけて、各区に手を挙げてやりませんかやっている。それに乗かって、レノボというパソコン市場の最大手の会社に協力いただいて、2か月ぐらいの無料期間、試用期間で、少しメタバースを使ってみようということで、実は明日の校長会でもお知らせするんですが、7月8月にかけて、登校サポートセンターのスタッフが声をかける先生となって、そして受入れ対象は中学校の校内ふれあいに通っている子、およそ120人ぐらい対象がいるんですけども、その子らに声をかけて、そしてある期間一回入って、使用感といいますか、お試しのその感じを教えてくださいということをやります。そこでスタッフとしてはこれが使えるのか、あるいは対象の児童生徒としてはどうなのかということも検証したいとは思っています。そういういろいろな試みをしながら、どういう対策が効果的なのかということも考えていきたいと思っております。

○廣瀬教育長 いろんな使ってみないと分からないところがあって、東京の実践でも予算化はするものの、一桁の数しか入っていないとか、それなら費用対効果はどうなんだとか、様々ありますので、一回やってみて、どれだけ有効なのかを図っていきたいなと思いますので、また結果については御報告をさせていただきます。

ほか、いかがでしょうか。

豊田委員、何かありますか。

○豊田委員 今のお話の中では、それがうまく動いていけばいいなっていうふうには思いました。ちょっと気になったのは、小規模特認校のところで4件問合せがあったということなんですが、手応えや見通しはどんな感じでしょうか。

○廣瀬教育長 教育総務課長、お願いします。

○森教育総務課長 確かに4件ほどございまして、それから1件ほど御相談が加わる形

で今推移してございます。水沢小学校のほうが窓口になり、今後秋口に目がけて、体験等で、また随時、いろいろ様子を見にいらっしゃったりというのも実際に進めておりますし、そんな中で一応今のところはやり取りをしながら、またもう一つは、今後恐らく就学前のお子さん方が、特にタイミングとしては、さらなる問合せがきてくれたらええなというようなところを今考えてございます。そういったことも併せて、今後は、希望的観測ではありますが、5名程度、ないしはプラスアルファで新年度目がけてというようなことを考えておるところでございます。

○豊田委員 最初が本当にうまくいくと次に続いていくと思うので、うまくいくといいなと思っています。

○森教育総務課長 ありがとうございます。

○廣瀬教育長 本当に地域の理解がすばらしくてですね、この制度をうまく着地させたいという思いが強くて、協力体制は、水沢小学校のみらいを考える会に参画いただいている方々の意見を見せていただくと本当にありがたい感じで進んでいますので、学校と地域と一体になった方向としては、何とかできるのかなと思っています。ただ、議会からの要望については、新しいことをそこでやらないのかということなので、現状負荷をかけたくない。まずはこの制度をきっちりとじっくりやらせていただく中で、小規模のよさが当然出てくるだろうから、そこで教育環境を整えることで、自由進度学習のようなスタイルの授業も出てくるんじゃないかということは返しているんですけど、期待が何か半端なく大きいので。けど焦ってしたくないなど、この質問のとおりに進めていきたいなと思っています。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に行きたいと思います。

これより、先にお諮りいたしました非公開の案件に入ります。傍聴者はおみえになりませんでしょうか。